



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'94 8月号

特別展関連行事のご案内



■7月20日から始まった夏期特別展「掘り起こされた平塚II」では、最近10年の間に出土した考古資料を一堂に集めて展示しています。また、同じ遺構から出土した「一括資料」の展示もみどころです。平塚市に於ける考古学調査の現状をご覧ください。

■特別展関連行事■ 《発掘調査報告展》

- 期間：8月2日（火）～9月20日（火）
■時間：9：00～16：50
■場所：博物館1階 寄贈品コーナー

夏期特別展 展示図録
掘り起こされた平塚
II

博物館受付で販売しています ￥730

↑人面墨書き土器（六ノ域遺跡） 平安時代

■特別展関連行事■ 記念講演会 《スライドで見る 発掘最前線》

- 開催日：8月6日（土）
■時間：13：00～15：30
■会場：博物館講堂（参加自由）

■特別展関連行事■ 遺跡見学会 『岡崎地区の遺跡』

- 開催日：8月21日（日）
■時間：14：00～15：30
■会場：岡崎地区（参加自由）
★岡崎神社境内に集合★

小雨決行

「発掘調査速報展」

8月2日～9月20日

■考古学の調査といえば、ほとんどの人が野外で行う発掘調査を思い浮かべるでしょう。しかし、調査は発掘するだけで終わるわけではありません。出土した資料や検出された遺構の状況について詳細に検討したうえで、「発掘調査報告書」を刊行しなければならないのです。発掘調査よりもむしろこちらの方が時間のかかる作業となるのです。

■発掘調査速報展では、平成4年度・5年度に行われた発掘調査で出土した資料で、現在

調査報告書を作成中の資料を中心に展示しています。

■展示資料には、岡崎の城山横穴群から出土した馬具、稻荷前A遺跡から出土した「国厨」の墨書のある土師器、山王A遺跡から出土した正倉院宝物と類似する「佐波理の匙」等、新聞その他で大きく報道された話題の資料のほか、長い保存処理作業を終えた鉄製品の数々も顔をそろえます。

体験学習 「勾玉を作ろう」

緑色凝灰岩の採集

■夏休みの体験学習「勾玉を作ろう」では去る7月28日、勾玉の材料となる緑色凝灰岩（グリーンタフ）の採集に出かけました。

■少しでも古代人に近い体験をする事が目的のこの体験学習では、材料も自分で調達するのが基本。夏の暑さにもめげず、時おりまとわりつく蜂におびえながら丹沢の山道を歩くこと約1時間半。目的地周辺は青緑色の緑色凝灰岩が道や川にきらめいています。

■しかし、せっかく見つけた材料も中に亀裂が入っていると製作中に割れてしまって台無しになってしまいます。材料選びは慎重に行わなくてはなりません。

■無事材料を手にいれた一行は8月3日に砥石として使用する角閃石安山岩の採集に出かけます。より一層困難な道のりを克服して、今年はどんな勾玉ができるのでしょうか。



緑色凝灰岩の露頭



露頭地での緑色凝灰岩採集

☆夏の夜空に親しもう！☆

■今年の夏は近年にない好天続きのようです。夏の星空も今年は話題が豊富で楽しむことができます。本館主催の「星を見る会」(詳細は4ページ参照)では夏の星座や星を探したり、望遠鏡で月や惑星、星雲星団などの天体をながめ、夏の星空に親しみます。

◆木星面に彗星の衝突痕を見る◆

■この夏の大きな話題は何といっても木星にほうき星「シューメイカー・レビー第9彗星」が衝突したことです。テレビや新聞などで報道されたとおり、地球よりも大きな、巨大な衝突痕が木星表面に残されました。これはその後も残り、しばらくの間見え続けてくれそうです。『星を見る会』でも木星が見やすい4日、11日の会で見られると思います。

◆よいの明星◆

■木星の話題の影に隠れてしましましたが、この夏、西空に「金星」が明るく輝いています。25日には東方最大離角といって、地球から見て太陽から最も離れる時期を迎えます。望遠鏡で見ると、ちょうど半月と同じ形に見えます。

◆夏の星座◆

■夏の星座は南から頭の真上を通り、北に伸びる天の川に沿って見ていくと楽しいものです。残念ながら平塚の町の中では天の川は見えず、明るい星をたよりに星座をたどることになります。南の空低くひろがるさそり座の「Sの字」型、いて座の南斗六星、頭の真上の夏の大三角形とその星座。北の空のカシオペヤ座と北極星。北の空低くに傾いた北斗七星。一つ一つたどってみましょう。

今月のプラネタリウム

よだかの星

★7月23日★
★～9月4日★

■友好都市花巻が生んだ詩人宮沢賢治(1896-1933)の、星に関わりのある童話から「双子の星」に続く第二弾として「よだかの星」を投影します。

■「よだか」(「ヨタカ」というのが鳥として正式な名)はみにくい鳥で、ほかの鳥たちからきらわれていました。ある日、名前の似ている鷹から「名前を変えなければ殺す。」

とおどされた『よだか』は、ある大事なことに気づくのでした。

■賢治は、商家に生まれながら、農民の生活に深い関心を持ち、啓蒙教育や生活の改善のためにその一生をささげた人でした。この童話は、ある意味で彼自身の生きかた、考え方を象徴しており、「賢治の童話制作意図の核心」が表れているとまで評されるものです。

プラネタリウム利用案内：《一般投影》

☆投影日：毎週 水・木・土・日曜日 <夏休み期間中>

水・木・土曜日の第1回目 11:00 は団体優先です。

☆投影時間：第1回目 11:00 第2回目 14:00

定員：86名

☆途中入場はできません。

☆夏休み期間中の水・木・土曜日の11:00の回は団体予約を受け付けています。
詳しくは博物館までお問い合わせください。

☆観覧券の発売は9:00からです。1階受付でお求めください。売り切れの場合はご了承ください。

博物館カレンダー

8月の行事予定

3	水	○体験学習「勾玉を作ろう」
4	木	○星を見る会 「夏の星空に親しもう」 天体観察会「スター・ウォッチング」
6	土	○夏期特別展記念講演会 「スライドでみる発掘最前線」
7	日	天体観察会「スター・ウォッチング」 ○みんなで調べよう「ガイダンス」
9	火	○体験学習「勾玉を作ろう」
10	水	○体験学習「勾玉を作ろう」
11	木	○星を見る会 「夏の星空に親しもう」
12	金	天体観測会「ペガセウス流星群」 (月光天文台) <至:13日>
13	土	○漂着物を拾う会 古文書講読会
17	水	○夏の自然観察会 「夏の沢を歩く」
18	木	○星を見る会 「夏の星空に親しもう」 裏打ちの会
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
21	日	○夏期特別展企画「遺跡見学会」 ○夏の自然観察会 「夏の沢を歩く」
23	火	○自由研究相談会
24	水	○体験学習「地形模型を作ろう」
25	木	○体験学習「地形模型を作ろう」 ○星を見る会 「夏の星空に親しもう」
27	土	○体験学習「地形模型を作ろう」 ○みんなで調べよう「まとめ」 古文書講読会
28	日	古代遺跡を探す会 相模川の生き立ちを探る会 「海辺の石の由来・須賀」

◎は参加自由: ○は申込締切: 他は会員制

7/20~8/30 夏期特別展
「掘り起こされた 平塚Ⅱ」

9月の行事予定

10	土	古文書講読会 ○漂着物を拾う会
11	日	古代遺跡を探す会
13	火	博物館実習生受け入れ(至21日)
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
18	日	相模川の生き立ちを探る会 「わさび田と塩川滝・愛川町」
22	木	裏打ちの会
24	土	●自然観察ゼミナール 「カマキリ入門」 古文書講読会

◎は参加自由: ●は申込制: 他は会員制

7/23~9/4 プラネタリウム <夏休み期間中>
「よだかの星」

8/2~9/20 寄贈品コーナー <考古部門>

9/10~10/30 プラネタリウム

「ハーフ・ムーン・ステレスコープ」

9/13~9/21 博物館実習生受け入れ

9/22~10/30 寄贈品コーナー <実習生>

☆星を見る会「夏の夜空に親しもう」☆

内 容: 望遠鏡による観察を通して、天体
及び宇宙に対する理解を深めます。

開催日: 8月4・11・18・25日(木)

時 間: 19:00~20:30

場 所: 博物館屋上(博物館科学教室集合)

参 加: 自由

備 考: 曇・雨天時中止

◆ 自然観察ゼミナール ◆ 会員募集

第2回テーマ「カマキリ入門」(全3回)

開催日: 9/24(土) 10/16(日) 12/11(日)

参 加: 往復ハガキ(1家族1枚)に住所・氏名・電話番号を書いて「自然観察ゼミナール」係まで。

締 切: 9月14日(水)

行事に関するお問い合わせは、平塚市博物館
管理係・学芸係 0463-33-5111まで。

あなたと博物館 19巻5号 還巻210号 03000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL: 0463(33)5111 FAX: 0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています